

見れば見るほど見えなくなる ジャコメッティ《ヤナイハラ I》を 徹底的に鑑賞しよう

2019年

第1回 11月2日(土)

第2回 12月7日(土)

2日ともに13:00~17:00

2回でひとつのワークショップです。
参加費無料



講師

伊藤亜紗

東京工業大学リベラルアーツ
研究教育院准教授、
『目の見えない人は世界を
どう見ているのか』
(光文社) 著者

対象

◎見えない／見えにくい人：定員6名(高校生以上)

◎見える人：定員6名(高校生以上)

※11月2日と12月7日の両日参加できる方

※事前申し込み・応募者多数の場合は抽選

場所

国立国際美術館 講堂・地下2階展示室

特別協力

小田原のどか(彫刻家)



本ワークショップは、「見たままに作る」ことを目指しながらも、見れば見るほど見えなくなると苦悩したアルベルト・ジャコメッティの「見方」あるいは「見えなさ」にならって、ジャコメッティ自身の作品を2日間かけて視覚に頼らずにじっくり鑑賞するプログラムです。

とりあげるのは、国立国際美術館が去年新たに所蔵した《ヤナイハラ I》(1960-61)。パリに滞在していた日本人哲学者、矢内原伊作をモデルとしたブロンズ像です。

1日目は、レプリカを手で触って観察したうえで、粘土で《ヤナイハラ I》の模造を作ることにチャレンジします。2日目は、参加者どうしの対話を通じて1日目の発見を交換し、「一つの顔を描くのは山と谷が錯綜している風景を描くようなものだ」と言っていたジャコメッティの言葉を参考に、《ヤナイハラ I》をひとつの風景として眺めます。ひんやり気持ちいい岩場や、人が集まるのに都合がいい広場など、「顔の中のお気に入りの場所」が見つかるかも。手の自由な想像力に作品を委ね、さらに対話を通じて各自の発見を深めあうことで、視覚を超えた作品鑑賞の可能性を探求しましょう。



アルベルト・ジャコメッティ
《ヤナイハラ I》
1960-61年
国立国際美術館蔵
撮影：福永一夫

申し込み方法

下記のメールアドレスまでメールをお送りください。件名には、「ワークショップ申し込み」とご記入の上、本文には、以下の9項目をご記入ください。

- 1 氏名(ふりがな)
- 2 学年あるいは年齢
- 3 連絡用メールアドレス
- 4 携帯電話番号
- 5 視覚障害の有無
- 6 当日同行する介助者(ガイドヘルパー)の有無
- 7 盲導犬(アイメイトも含む)の有無
- 8 参加動機
- 9 今回の情報の入手方法

申込メールアドレス
education@nmao.go.jp

申込締切

2019年10月18日(金) 午後1時必着

お申し込みについてのご注意・お知らせ

- *電子メール1通につき申込者1名様のみをご記入ください。1通につき申込者複数名で申し込むことはできません。
- *複数お申し込みいただいても、1件として取り扱います。
- *応募者多数の場合は抽選です。参加申し込みされた全員の方に参加の可否をお知らせします。
- *@nmao.go.jpからのメールを受信できるように設定してください。当館からの参加可否のメールが受信拒否あるいは迷惑メールフォルダー等に振り分けられないようにご注意ください。

お問い合わせ

国立国際美術館
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55
Tel 06-6447-4680(代)
Fax 06-6447-4698
<http://www.nmao.go.jp/>